

高齢者医薬品適正使用の指針(詳細編) のコンセプトについて

資料3

- 総論編指針の追補として、患者の療養環境の特徴を踏まえた薬剤の追加の留意点。総論編の追補の本編合計20頁程度

指針総論編(急性期を含む)

服薬の全体像
処方情報の一元化
CGA 処方の優先順位付け
薬剤起因性老年症候群
減薬・変更の留意点
投与量・併用の管理
見直しのタイミングと療養環境移行
服薬支援
多職種連携
国民への啓発

別 添

薬剤の留意点の追加

各主要慢性患者の処方薬に追加の留意事項(場面に応じて)
(例)

認知症、骨粗鬆症、呼吸器(COPD)、がん・緩和医療等

(参考情報)多病の患者の処方での対処事例の例示集

追補1 外来・在宅医療の処方

※特別養護老人ホームを含む

入退院、入退所時の引き継ぎ
外来、在宅医療での見直しのタイミング
処方見直しの留意点(場面に応じた薬剤の優先)
地域内多職種の役割、チームの形成

追補2 慢性期・回復期等入院医療の処方

※地域包括ケア病棟を含む

急性期医療からの情報の引継ぎ・連携
入院時の見直しのタイミング
処方見直しの留意点(場面に応じた薬剤の優先)
多職種の役割、チームの形成
退院時の引き継ぎ・連携

追補3 その他の療養環境(介護を含む)での処方

外来・在宅、急性期医療からの情報の引継ぎ・連携
入所時の見直しのタイミング
処方見直しの留意点(場面に応じた薬剤の優先)
多職種の役割、チームの形成
退所時の引き継ぎ・連携

追補1~3 に関する 国民への啓発